

地質学会ジオパークワークショップ

ジオパークによる地域活性化をめざして

-地域と地質学者の連携のあり方をさぐる-

日本地質学会ジオパーク支援委員会は、日本ジオパークネットワークと共催のもと、ジオパークによる地域活性化、地質遺産の保全および地学の普及のために地域の方々と地質学者がどのように連携して活動していけばよいかをさぐるために、ワークショップを開催します。本ワークショップでは、実際にジオパークの運営に携わる人と地質学会員が各地の実践例を発表し、地域と地質学者の連携のあり方を議論します。ジオパークに関心のある行政担当者、地域の方々、研究者などの皆様の参加を期待しています。なお、国内初の世界ジオパークネットワーク加盟地域は8月23日には決定される予定です。

日時：9月5日（土）

場所：岡山市デジタルミュージアム4階

（岡山駅西口・リットビル正面のエスカレーターをご利用のうえ、4階へとお上がりください）

主催：日本地質学会ジオパーク支援委員会

共催：日本ジオパークネットワーク

後援：産業技術総合研究所 地質調査総合センター

プログラム（予定）

午前の部 10:00-12:00 日本ジオパーク支援委員によるジオパーク個別相談（事前予約制）

午後の部

第一部 13:00 開会挨拶・趣旨説明 天野一男（日本地質学会ジオパーク支援委員会委員長）

世界ジオパーク申請3地域の実践例（講演20分、質疑5分）

13:05-13:30 糸魚川ジオパーク

13:30-13:55 島原半島ジオパーク

13:55-14:20 洞爺湖・有珠山ジオパーク

14:20-14:30 コメント：世界ジオパークネットワーク現地審査委員が語るジオパーク

-3地域の現地審査に同行して- 渡辺真人

-休憩-

第二部 各地の実践例と情報・アイデアの交換（講演15分、質疑5分）

14:40-15:00 山陰海岸ジオパーク

15:00-15:20 室戸ジオパーク

15:20-15:40 阿蘇

15:40-16:00 隠岐

16:00-16:20 秩父

16:20-16:40 霧島

16:40-17:00 萩・阿武

17:00-17:20 茨城

17:20-17:40 総合討論

17:40-17:45 閉会挨拶 高木秀雄（日本地質学会副会長）

18:00- 懇親会

お問い合わせ先：日本地質学会ジオパーク支援委員会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-8-15 井桁ビル

TEL:03-5823-1150 FAX:03-5823-1156 e-mail: main@geosociety.jp

ジオパークの解説

■ジオパークとは？

ジオパークは科学的に貴重な、あるいは美しい地形や地質を見どころとする「大地の公園」でユネスコが支援する活動です。ジオパークは、三つの柱からなっています。

- (1) geoheritage、つまり地形・地質などの「大地の遺産」を保全する
- (2) 教育・普及に活用する
- (3) ジオツーリズムを通じて地域の持続可能な発展に活用する

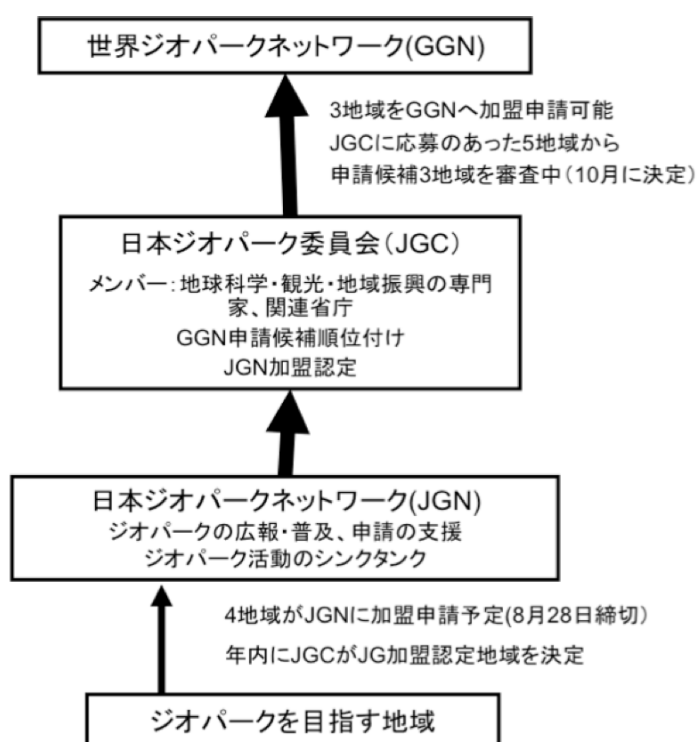
ジオパークでは地質や地形などを見るための自然観察路などが整備され、地元によってガイドマップやガイドブックが出版され、ガイド付きのツアーが行われます。「ジオ(地形・地質)」をテーマとした今までの観光とはひと味違った旅(ジオツーリズム)を求める人のための場所がジオパークです。

2004年にユネスコの支援で設立された世界ジオパークネットワーク(GGN)が、世界のジオパーク活動の推進と支援を行っており、GGN または各国のジオパークネットワークに加盟しない限り「ジオパーク」と名乗ることはできません。GGN への加盟が、世界遺産で言う登録にあたり、現在 18ヶ国 57ヶ所のジオパークが GGN に加盟しています。ジオパークに関しては、日本ジオパーク委員会 website: <http://www.gsj.jp/jgc/indexJ.html> もご参照ください。

■日本におけるジオパークの現状

現在、専門家と関連省庁からなる「日本ジオパーク委員会(JGC)」と、ジオパークを目指す自治体関係者などの集まりである「日本ジオパーク連絡協議会」が日本のジオパークの活動の中心です。

JGC は日本における GGN への窓口であり、今後設立される日本ジオパークネットワーク(JGN)の認定機関です。この委員会の認定がない限り「ジオパーク」を名乗ることはできません。日本ジオパーク連絡協議会では、ジオパークを目指す地域同士が活発な情報交換を行っています。



ジオパーク登録の流れ (2008年の例)